

B Lab、徳島県海陽町の図書館を拠点とした地域活性化イベントを開催

B Lab (iUの研究所、所長 石戸奈々子) は、2025年2月11日(火) に徳島県海陽町の図書館を拠点としたイベントを開催いたします。B Labは、2024年3月に徳島県海陽町と連携協定を締結しました。本協定では、教育や文化をはじめとする幅広い分野でテクノロジーを活用し、地方創生と人材育成に貢献することを目的としています。今後は、徳島県海陽町の地域おこし協力隊と連携し、先進的なICT教育の推進や過疎地域における住民間交流の促進、さらに関係人口の増加を視野に入れた長期的なプロジェクトを展開していく予定です。

海陽町では、住民同士の交流を深めるため、図書館を新たな交流の場として活用し、その運営の充実を目指しています。その取り組みの第一弾として、海陽町内の図書館で地域活性化イベントを開催します。本イベントでは、図書館を住民間交流の場づくりと新たなテクノロジーを学習する拠点とすることを目的に、地域と都市をつなぐeスポーツイベントと、生成AIを活用したMV (ミュージックビデオ) 制作ワークショップを実施します。



ワークショップについて

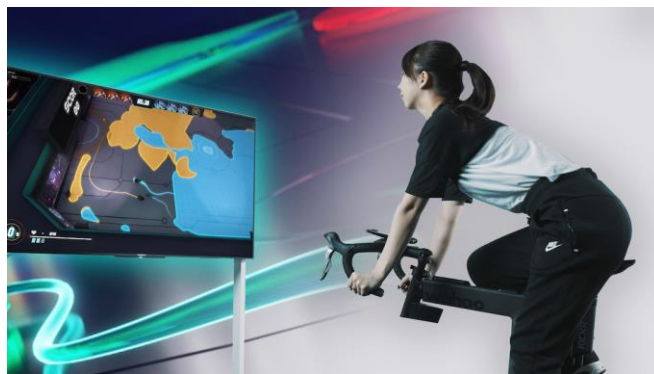
日時：2025年2月11日(火) 13時から16時

場所：海陽町立海南図書館 (徳島県海部郡海陽町四方原字旭町 38-1)

■①超人スポーツ Spilit Overflow (主催：B Lab 超人スポーツプロジェクト、共催：B Lab)

最先端のeスポーツが、地域と都市をつなぎます！

本イベントでは、デジタルデバイスと連携した自転車を活用し、サイバー空間上でオンライン陣取り合戦を実施します。プレイヤーは、自転車を漕いだり操作したりしながら、自身のアバターを動かし対戦を楽しみます。今回は、徳島県海陽町と東京都港区をオンラインでつなぎ、新たな関係人口の創出を目指すとともに、障害の有無を問わずすべての人がスポーツを楽しめる場を提供します。デジタル技術を活用した新しいスポーツ体験を、ぜひお楽しみください。



■②AI for ALL（主催：海陽町 e 場所プロジェクト、B Lab AI for ALL）

すべての人に AI の力を！生成 AI を活用した MV 制作ワークショップ。

市民の AI リテラシー向上を目的とし、第一弾として急速に普及する生成 AI を活用した音楽創作ワークショップを開催します。まず、AI を使って歌詞を考え、その歌詞をもとにオリジナルの楽曲を作り上げます。対象は子どもから大人まで。このワークショップを通じて、生成 AI の使い方を学ぶだけでなく、創造的な活動を支えるツールとして活用する楽しさを実感できます。AI とともに、新しい音楽の世界を体験してみませんか？

■B Lab について

Beyond, Borderless, Breakthrough の頭文字をとった「B Lab」は、研究所と銘打ちながら、世界中の大学・研究所、地域、人材をつなぎ、多くの人の得意技や知見を融合させ、新しい技術、サービス、コンテンツ、ビジネス、社会を生み出す参加型プラットフォームです。テクノロジー開発、社会課題解決、新サービス創出などスコープは広いですが、共通項は社会実装で、みんなでつくるということ。お父さんもお母さんもおばちゃんも子どももみんな研究員。Lifelong Seeker になり、第 2 の研究員名刺を持ちます。ソーシャルで、オープンで、参加型で、ユーザーふくめ全ての人がつながり新しい社会を構築し、課題、アイデア、技術、おカネ、スキル、人をマッチングさせ、小さな創造から大きな創造までおもしろい未来をみんなでつくることを目指します。

<https://www.blaboratory.org/>

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数48、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。

連携企業737社、客員教員1,160人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等103プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■学長



京都大学特任教授、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

・学生数：698名 ・基幹教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■ 学びの特色

「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

① 論理的思考で世の中に変革を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習
さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

② 情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける
プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③ 国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート
- ・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

■ 育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp